

カトリック大名町教会ニュース

DAIMYOMACHI CATHOLIC CHURCH NEWSLETTER



〔ミサ時間〕 主日ミサ：(土)19時／(日)7時・9時30分／英語ミサ(日)16時

ホームページ：http://church.jp/catholic-daimyoumachi/

〒810-0041 福岡市中央区大名2-7-7〔巡〕能古島カトリック教会 ミサ(土)18時30分

TEL 092-741-3687 fax.741-5107

〒819-0012 福岡市西区能古弁当1621-12 発行責任者：杉原寛信

福岡教区年間テーマ：いつくしみから踏み出す第一歩

大名町教会年間テーマ：ともに祈り ともに捧げ ともに歩もう

聖週間典礼

- ・4月9日(日) 受難(枝)の主日
9:30 枝の式ミサ
- ・4月12日(水) 聖香油ミサ
15:00

過ぎ越しの聖なる3日間

- ・4月13日(木) 聖木曜日
19:00 主の晩さんの夕べのミサ
- ・4月14日(金) 聖金曜日
19:00 主の受難の祭儀
大斎・小斎
- ・4月15日(土) 聖土曜日
19:00 主の復活 復活徹夜祭
- ・4月16日(日) 主の復活
7:00／9:30 日中のミサ
15:00 日中のミサ(能古島)
16:00 日中のミサ(英語)



ペトロ金貞根新司祭の叙階式、お姉さまご夫婦と韓国からの司祭団にも囲まれて!

勉強会

杉原寛信神父

毎週木曜日

- 10:00:キリスト教入門
- 14:00:福音の分ち合い
- 19:00:キリスト教入門

メディナ神父

毎週火曜日

- 19:00:要理研究会
- 毎週水曜日
- 10:00:聖書勉強会

第Ⅲ期 キリスト教講座(信徒スタッフ)

*テーマ:キリストの共同体との出会い

- 毎週水曜日 19:00 から
- 毎週金曜日 10:00 から
- ・2017年4月5日・7日から



ゆるしの秘蹟：4月8日(土)・5月6日(土)・20日(土) 10時から 小聖堂/日曜日 8時45分

「ごめん」

日本一短い手紙のコンクール、今年の「二筆啓上賞」大賞の一篇。

『ママへ』

「ごめん」って

ぼくの口はあかないんだ

口に力が入って

手に力を入れて書くよ。

ごめん

2017年1月28日、『読売新聞』朝刊の『編集手帳』に紹介されていた。作者は千葉県の小学2年生、

《佐藤 蓮(8歳)》君。目を見開いて「ごめん」と書いてる子どもの姿が、目に浮かぶ。蓮君のお母さんは、この短い紙を繰り返し読み、心の奥にそっと仕舞い込まれたので、

この《佐藤 蓮(8歳)》君の詩が、私たちにも呼びかける。照れくさく緊張し、心配もあるけれど、必ず伝わっていることを、

「ごめん」と言いたい。だから、ゆるしの秘蹟を大切にしたい。

ゆるしの秘蹟を大切にしたい。

大名町カトリック教会

杉原寛信神父

教会委員会

3月12日の委員会

【検討事項】

(1)九州 DARC の受け入れ承認と経過の説明。

(2)年間テーマ取組における各部会報告。

〈美化部〉

・スローガン「力を合わせて教会をきれいにしよう」。

(1)毎週土曜日の清掃。

(2)指定日に信徒全員による大掃除を実施。

〈ヨゼフ会〉

・古紙、段ボール、アルミ缶を信徒から回収して、得た資金を教会活動に充てることを検討している。

〈教会学校〉

・教会学校についての提案。

(1)社会問題となっている貧困状態の子どもを支援する企画。

(2)外部との繋がりを深めるため、未信者の友人を誘い、クリスマスや復活祭のパーティーの企画。

(3)英語ミサグループの子どもとの交流を深める企画。

※濱崎委員長から、5月の信徒総会において進捗状況を報告するので、各部会は引き続き検討願いたいとの要請あり。

(3)一人一役の取り組みについて

・30名の信徒から奉仕の申し出て

があった。
・各部の担当者は個別に連絡を取り対応する。

・いずれの部にも属さない方については、濱崎委員長が対応する。

(4)カテドラル施設使用献金

①4月からカテドラルの使用願いの提出を徹底していただく。

②予約が重なる時、使用できない場合がある。

③使用日の6ヶ月前から予約可。

④使用献金は、事前確認の上、利用当日に納めてもらう。

⑤以上のことを教区報に掲載し、教区内に周知徹底していただく。

⑥一部の部屋について献金額の見直しが必要のため、次回の教会委員会にて確認する。

(5)昨年度の施設利用献金の維持費繰り入れに関し、担当委員から説明あり。

(6)今後の営繕計画について、濱崎委員長から説明あり。

(7)聖週間について

・復活徹夜祭の献金箱管理は、財務部が担当する。

・枝の主日で使用する枝の手配を行う。

・洗足式12名の人選を行う。

・新受洗者へのお祝い準備。

・復活祭のパーティーを、行事部中心に準備する。
(8)巡礼旅行について
・宣教部が準備をしている5月13日(土)の日帰り巡礼の訪

問先は熊本地震被災教会(菊池、健軍、武蔵丘、手取教会)を中心とする。

(9)主任司祭から

・昨年受洗した3名の信徒から、信仰者としての1年の歩みを、復活祭後に分かち合っていた

・生活聖化委員会アンケート結果を受けて、小教区の取り組みはどうなのかとの問いかけがあった。

・聖アウグスチノ修道会から、松尾太助祭の司祭叙階式が、4月22日(土)11時より高見大司教司式のもと、長崎の城山教会にて執り行われる案内あり。

・今村信徒発見150周年記念事業の礼状が届いた。

・記念品として使用できる教会名刺印ボールペンサンプルが、業者から届いたとの紹介あり。

・ペンシャワール会から、講演会開催の要請あり。

・10月8日(日)のミサに参加される、聖アルフォンソ合唱団との準備はすすんでいるとの説明あり。

(10)四旬節期間中のミサ献金を、カリタスジャパンとは区別する旨の説明がなされた。

【各部報告】

〈営繕部〉

・外壁工事後の竣工検査の場に複数委員の立ち合いを要

請する。
・大聖堂ワイヤレスマイクの混線時の操作は、盤上の7番及び8番のボリュームを下げる対応が有効とのこと。

〈財務部〉

・昨年のクリスマス特別献金を、教会とカリタスジャパンに折半する旨の説明あり。

大名町教会3月の現勢

転出(教会へ)

・モニカ 丸太直美(長崎・浦上教会)
・テレジア 大濱 彩

(さいたま・川越教会)
洗礼 おめでとうございませす。

3月1日

・ヨゼフ 竹原 茂

ようこそ シン神父様



ペトロ 申 佑秀 神父様

大名町教会の協働司祭として韓国からおいでくださった、ペトロ申佑秀(シンカンス)神父様にお尋ねしました。

・12使徒で、一番好きな方は?
・もちろんペトロです。

・お好きな食べ物は何ですか?
・何でも、大好きです。

◎よろしくお願ひいたします。

大名町教会侍者会から



イ・ハヌン助祭様と侍者会の仲間たち

平成28年度最後の侍者会を先週のミサ後に行いました。
 杉原神父様と李助祭様の指導のもと、ミサでの動作や細かい点を再確認し、司教様ミサでのミトラなどの扱い、特別な役割も全員で覚えるよう努めました。
 そして今年度も引き続き『出向いていく』を実行していく予定です！

前年度は4カ所、そして先月は大阪の叙階式にも赴き、2名が侍者もさせて頂きました。この大きなお恵みに感謝し、また今年も多くの学び、交流の場を持つことができると考えています。
 今年は受験で上級生不在が多いですが、下級生が成長する良い機会。新メンバーも加えまた一段とパワーアップした「Teamキリコ」

になればと思つてます。
 侍者会の為にもお祈り、応援よろしくお願い致します??

◆新メンバー募集??

- ・初聖体を受け、真剣に奉仕してくれる子どもたち
- ・男女どちらでも可
- ・できるだけ毎週主日のミサに来れる子どもたち
- ・新しいやる気ツズお待ちしています!!
- ・詳しくはリーダー（平田、杉山、矢野）まで。

「オペラ高山右近」に想う



2月7日の列福式会場から

2月26日(日)、カテドラル大名町教会にて、オペラ高山右近が上演されました。聖堂全体を舞台とし、観客のわたしたちもその中であつて、不思議な一体感の中でオペラは始まったのであります。
 シンプルな舞台装置と音響、パターションを使った場面展開も

効果的でありました。

右近の人となりを示す数々のエピソードから、特に福音的な生き方を追求していく姿が表現されていきました。戦乱の世に身分のある家柄の子として生まれ、63年の生涯のうち28年は追放の身、信仰のため降りてゆく姿は、さながらキリストの姿と重なり、観衆の涙を誘うものとなりました。

『剣か愛か』至福の王者高山右近のオペラは、素晴らしい歌声とオーケストラ音楽、迫力だけではない、2月7日(火)に列福されたばかりの降りてゆく人を、見事に福者としての表現をされていたと感じた次第です。右近の潔癖とも思えるような信仰生活はできそうもありませんが、自分の置かれた境遇から逃げずに、祈りながら、右近の取次を願いながら、歩んでいきたいと思ひます。

中田 恭子

小さき花の会

聖書通読会 (第50回目)
 ・4月23日(日) 9:30ミサ後

1F 講堂奥の場所で行っていただきます。
 通読箇所はヨハネの黙示録17章からです。

*みことばを味わった箇所が話題になり、ここに残る分かち合いになります。

ヨセフ会

これまでに、「私はマタイ福音書で救われた」、「パウロは文章が上手だ」、「神様の愛がひしひしと伝わり、いつもそばにいてくださると感じる事が出来る」等々。お茶を飲みながら楽しくお話ししています。たくさんの方と分かち合えたらと思います。
 *通読会は5年目に入り「新約聖書」を読み終えようとしています。新約聖書の後は「詩編」を読みます。
 初めての方も皆さんと一緒に聖書を開いてみませんか?お待ちしております。

世の中、新しい年度がスタート、今年、ヨセフ会は、奇数月の第一日曜日ミサ後に、定例会を行つていきます。

中年、壮年の皆さん、そして経験豊富な大先輩の皆さん、一つになつて集いませぬか?

外壁工事も近々終了、外面はきれいに、しかし内面は至る所に、修理の必要が、皆様のアドバイス、知恵と力をお貸しください。

2人、3人いるところにわたしは必ずいる。キリストと共に歩みましょう。待つてます。

2016年WYD(ワールドユースデイ)に参加して「イエス様の幸せは、私の幸せ」



2016年のWYDに参加した仲間との報告会での荒牧結花さん

私は昨年7月末に、ポーランドのクラクフで行われたWYDを通して、イエス様との深い出会いの時をいただきました。
今回の大会で私達は、イエス様を身近に感じいつもそばにいてくださることを実感してきました。
中でも、1番心に残っているのは、大会中に行われた赦しの秘跡です。
私は赦しの秘跡の中で信仰に対する今までの後悔、これからの不安を告白しました。教会の中でこうありたい、こうするのが正しいんだろう、でも、できていない、それならいつそ教会から離れよう。でも、本当は離れたくないから、ますます辛くな

る。この大会でのお恵みを帰国して生かせるだろうか。そんなとりとめのない気持ちをここぞとばかりにぶつけました。すると、告白を聴いてくださった神父様に言われました。「イエス様の幸せはあなたの幸せだよ」と。

この言葉は私を本当に嬉しくさせ、救ってくれました。

大会最終日の閉会ミサで、フランシスコ教皇様は言われていました。「イエスと出会うには自分はふさわしくないと感じて、あえてイエスに近づこうとしないかもしれません。これは大きな誘惑です。私達は常に愛されている神の子です。自分自身を受け入れず、悲観的な日々を送ることは神が私を見ようとしている時に遠ざかり、神が私に抱いている夢を台無しにするようなものです。イエスにとつてご自分の思いにふさわしくない人、価値のない人などいません。主はありのままの皆さんを大切にしています。」と。

この大会に参加することは、私達にいろいろな想いと葛藤を与えました。でも、神様は私達一人ひとりを名前前で呼ばれ、あの場所にお集りになったのです。それを知った時、私達はとても大きな喜びとお恵みに深く感動しました。イエス様が私達一人ひとりのとてと近くいてくださっていたことに気づいたのです。

私達はこの大会で「憐れみ深い人は幸いである。その人たちは神をみる。」というテーマについても、カテケージス等を通して考える機会をいただ

きました。憐れみ深い人とは？慈しみとは？赦しとは？とくに「赦し」というものの難しさを、アウシユビツツ訪問で痛感しました。
一般的に言われる「赦す」の意味だけでなく、「間違ったことを『正す』」ことも神様の慈しみなのかな？と言った参加者がいました。

教皇様は「御父は私たちが真の勇氣を持つことを求めます。悪を悪で報いるのではなく、全ての人を愛し、敵さえも愛することにより悪よりも強くなる勇氣です。」と言われました。愛を持って人と接し、その人に寄り添っていければみんな正しい道に進んでいけるのです。

WYDで世界中の若者が同じ場所であることを知り、共に祈り、同じ方向を見ることができたのはとても大きな希望になります。

今回ポーランドという遠い異国のものであるにも関わらず、私達が日本人だと分かると世界中から集まった青年に「こんにちは！」「ありがとう！」と日本語で声をかけられました。日本人である喜び、同じ信仰を持つつながりを感じました。

WYDは巡礼です。浜口司教様は「人生は巡礼」と言われ、教皇様は「WYDは今日始まってあなたの家で明日も続く」と言われました。

私達のWYDは続いていきます。これから、福岡教区、自分たちの小教区でWYDという大きな慈しみから一歩踏み出し、イエス様の声に従い歩いていきたいと思えます。WYDに送り出してくださいます。すべての方に心からお礼申し上げます。

そして、私達を呼んでくださった神様に大きな感謝をお捧げ致します。
皆様、ありがとうございます。
ミカエラ 荒牧 結花

教会委員会行事部から ご協力をお願い

聖週間を皆さんで歩みましょう。
・枝洗い：4月8日(土)10時～
・もち米洗い4月15日(土)午後より、復活祭のパーティの準備等
神父様の歓迎会、ダルクの方のお祝い、ミサ後呼びかけますの皆さんの歓迎などよろこびいっぱい입니다。ミサ後呼びかけますの方のご協力をお願いいたします。

会長のつぶやき

卒業・就職・入学・入社・転勤・異動とこの季節、人の動きが活発になると同時に、巷で引越越し専門の車が至る所に。将に『動』、世の中、そしてこの大地に命の鼓動が聞こえ始めた。教会も動き始めた。

喜びにこころはずませ、声をかけてください、相談してください、呼びかけてください、と。動かなければ何も始まりません、行く末を主にゆだねて、すべては一步から！

特にご注意

▼4月末まで、外壁工事が続きます。注意と支え合いで事故が無いようご協力を。